

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会
計算力学小委員会（第25期・第1回）
議事録

日時：令和3年6月15日（火）10：00～11：30

会場：遠隔会議（主催会場：計算力学小委員会越塚幹事自宅）

出席者（敬称略）：

吉村忍、高木周、萩原一郎、矢川元基、寺田賢二郎、平野徹、古田一雄、
松本敏郎、横野泰之、越塚誠一

欠席者（敬称略）：

大島まり、岡田裕、土谷隆

配布資料

- 資料1 議事次第
- 資料2 計算力学小委員会設置提案書
- 資料3 計算力学小委員会名簿
- 資料4 第24期第5回計算力学小委員会議事録
- 資料5 第10回計算力学シンポジウム報告
- 資料6 第11回計算力学シンポジウムについて

議事：

1) 前回議事録の確認

- ・資料2を用いて前回議事録案の説明があった。

2) 役員の選出

- ・資料3および4を用いて、第25期の計算力学小委員会の設立の経緯と委員が説明された。
- ・委員長に平野徹委員が選出された。
- ・副委員長に萩原一郎委員、幹事に土谷隆委員と越塚が指名された。

3) 第10回計算力学シンポジウム報告

- ・資料5を用いて横野委員より報告された。
- ・Webinar形式とした。
- ・計算力学関連8学会より若手研究者の発表があった。
- ・特別講演として新型コロナウイルス感染に関する2人の著名な研究者の講演および総合討論を行った。
- ・参加者は182名と多かった。

4) 第11回計算力学シンポジウムについて

- ・資料6を用いて越塚より検討事項の説明があった。
- ・幹事学会は日本シミュレーション学会（古田委員）にお願いすることになった。8月末までにプログラム作成を行う。

- ・ 12/6（月）を候補とし、対面・遠隔ハイブリッドと遠隔の両方を想定して準備する。
- ・ 日本学術会議の講堂等の予約状況を確認する。
- ・ 第 1 部の各学会の若手研究者の講演のキーワードとしては、2022 年に計画されている WCCM-APCOM2022 と同じものを用いることで、国際会議に向けて盛り上げる。

"Pursuing the Infinite Potential of Computational Mechanics"

- ・ 若手研究者の講演は遠隔でよい。司会は各学会の会長。7 月末までに、講演者とタイトルを古田委員に連絡する。
- ・ 第 2 部の特別講演・総合討論のキーワードとしては「カーボンニュートラル」を考える。
- ・ 地球環境、水素循環、産業の分野で講師を打診する。なるべく現地での対面の講演をお願いします。

5) 議事要旨の提出に関する委員長一任について

- ・ 承認された。

6) 小委員会委員間のメールアドレス共有について

- ・ 承認された。

7) その他

- ・ 本小委員会の委員として、3 名をお誘いすることとした。
- ・ 次回の小委員会は第 11 回計算力学シンポジウムの昼休みの時間帯に開催する。

以上